



出征軍人遺家族 内外私設慰問使 熊田三郎氏本町へ

今日優良納税組合長表彰

税務署長、縣稅務所長を迎へて

意義ある 統後納税週間の催し

小名濱隔離舎閉舎

本年は二十三名收容 死亡者皆無

郡南のコンニャク大不作

栽培試験地の設置要望 業者悲鳴を上げ

平署の演武場改築

三井氏の工費寄附で近く着手

住居侵入に罰金二十圓

泥酔者送致に罰金

豊川稻荷神社々々

豊川稻荷神社例祭

豊川稻荷神社例祭

豊川稻荷神社例祭

豊川稻荷神社例祭

豊川稻荷神社例祭

小名濱、玉川聯合傳染病舎と見られてきた平市を中心...

郡南のコンニャク大不作 郡南のコンニャクは年産額果然自失の有様である...

平署の演武場改築 平署では東京市葛飾區立石展覽會に懸幕、左記二君が...

住居侵入に罰金二十圓 泥酔者送致に罰金 既報の事は何人も望む處だが、...

豊川稻荷神社々々 豊川稻荷神社例祭 (諏訪神社側) 一、場所 小名濱町神樂場 (高島町) 一、日時 舊十月二十一 (新十二月十二) 出征兵入營兵武運長久御祈 禱無料御護摩札贈呈ス 當日は購中参拜、一般の御参詣で賑いま...

參州豐川稻荷神社の由來

小名濱町神樂場(諏訪神社側高臺)に鎮座する豊川稻荷は去る昭和十一年一月一日現場に御分靈した武神で例祭は来る舊十月二十一日に執行し講中七百及び一般参拜で賑ふが出征軍人家族へは無料で御祈禱に應じ御守護札を贈呈する事になつてゐる、參州豊川稻荷神社の由來は左の如し

稻荷神社は昔神部に屬し正に稻荷を祀れる起源にして一位豊川稻荷大明神と號し爾來四方より善男善女の歸我國に於ける稻荷の陰徳と依祈願する者多く靈驗亦た言傳ふ、而して京都伏見の灼然たり、就中織田信長、稻荷の陽神とし此の二柱を豊臣秀吉、徳川家康、今川以て眞の稻荷と云ふ、故に義元、九鬼嘉隆、山本晴幸、豊川稻荷の御眞像は女神の本多忠勝、大岡忠相等天下御影が白狐に跨り玉ふ御姿知名の英傑の歸依祈願する者多く文祿年中豊太閤の朝朝も當山妙嚴寺に鎮座し給御征伐に當り九鬼嘉隆を討つ其由來を原るに開山義徳軍艦を造らしめ其最も壯易大和尚五世の法祖寒嚴義大なるに時の住職徳和和尚伊禰師は後鳥羽院の御子の名を冠して伊禰丸とし艦して順徳天皇の御弟におら内に稻荷の象を安置し以てせられ肥後大梁山大慈寺の職勝をいのりたり、又た徳任職とせられ而して康川氏の關ヶ原の陣に赴く途元年中支那に渡りて彼の地次、職勝をいのり後寺領四の諸禪寺を遍參せられ御修十九石を寄附して之れを報業の後も歸航の途次船に靈獲し、大岡越前守は疑獄を神願れ辨明かに、吾れは是裁斷するや、當山第十九世稻荷なり今より將に師の万牛和尙によりて其冥助を恐を護するに此の神呪を以祈りて過失なきを期し後てし而して師の教化に服す其神威に感じて自らの邸内をを守らん必ず疑ふこと勿に御分身を祀りて之を尊信れと言ひ果りて其影を見す是れ即ち東京赤坂なる豊守禪師歸朝の後も手つから川稻荷にして當山の分院な其感得する所の像を刻み護り法の善神とし信徒をして神呪を唱念せしむ後法嗣鐵山士安に附屬し東洲至道、梅嚴義東、華嚴義徳、相傳りて妙嚴寺の開山東海義易に到る、義易は開山と同時に寺中に同像を築き其像を安置して有縁の道俗をして祈願禮拜せしむ、是れ當山

天氣豫報
今晩 北の風曇り
明日 北の風曇り時々模様あり

産院の設備も充實致しました
電話も開設しました
何卒御利用下さい
産婆 近藤かぬ
小名濱町後宿 電話二三三番

齒科一般
佐々木齒科醫院
日本齒科醫學士
佐々木三郎
泉村小學校前 電話一番

時代の生んだ合理化せる、
セメント瓦製造販賣
高木惣治商店
小名濱町定西 電話二一八番
◎御報せ次第參上御見取申可候

江戸ッ子
おでん
一平鳥
本店 本市谷口前
支店 小名濱町紅橋前

内科 外科
小兒科 花柳病科
會田醫院
小名濱町上横町

久保田醫院
小名濱町
電話二二番

値段の—安
服型の—新し
仕立の—良
小松洋服店
平市越才小路十二
小松正治

一般一科齒
科外腔口
本院 小名濱町、船曳、
福尾齒科醫院
院長 福尾利清
分院 江名町岸浦埋立地
電話三四番

日用品雜貨
食料品百貨
古いのれんが示す
文屋百貨店
小名濱町古港
電話一三九番

齒科一般 口腔外科
鈴木齒科醫院
院長 鈴木正
小名濱町銀座通り

三非生命保險株式會社 代理店
大正火災保險株式會社
魚市場代行機關
磐城工業株式會社
小名濱町築港内
電話一四四番